

安心安全 特集号

2013年(平成25年)
6月1日発行

かごしま 市民のひろば ⑥

◇点字版・音声(テープ・CD)版を希望する人は広報課216-1133へ

家庭や地域で、防災や
防犯・事故防止などを考
えるために、この特集号
をご活用ください。

市民局危機管理部
危機管理課 216-1213
安心安全課 216-1209



八重山公園(郡山町)のモニタリングポストを視察し、県環境放射線監視センター職員から説明を受ける森市長(写真左)
※モニタリングポストは、川内原子力発電所周辺への放射線の影響を監視するため、空間放射線量を24時間測定している設備です。市内には八重山公園と常盤コミュニティセンター(郡山町)の2カ所に設置されています

安心安全なまちを目指して

原子力災害対策

原子力災害対策を進めます

本市では、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえるとともに、他の自然災害などとの複合的な災害の発生にも備えるため、今年4月に策定した原子力防災計画に基づき、原子力災害対策を着実に進めています。

市地域防災計画 原子力災害対策編(原子力防災計画)の概要

第1章 総則

計画の目的、定義などを定めています。

第2章 防災体制

災害応急対策における対応基準や活動体制を定めています。

第3章 原子力災害事前対策

情報収集・連絡体制の整備や防災訓練などの原子力災害対策に係る予防体制の整備や事前対策を中心に定めています。

第4章 緊急事態応急対策

九州電力から異常時における連絡などがあったときの対応、原子力緊急事態宣言が発出されたときの原子力緊急事態時の応急対策を中心に定めています。

第5章 複合災害時対策

複合災害時において、留意して取り組むべきことを定めています。

第6章 原子力災害中長期対策

原子力緊急事態解除宣言が発出されたときの原子力災害事後対策を中心に定めています。

※内容など詳しくは市ホームページをご覧ください

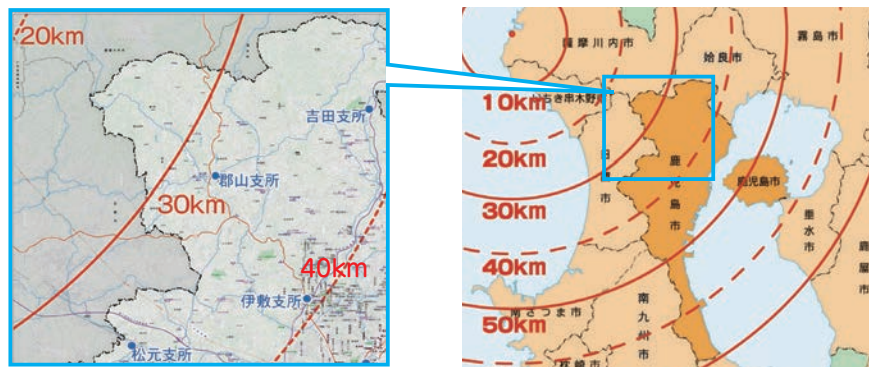


原子力防災計画を決定した本市防災会議
(4月24日)

本市における原子力災害対策重点区域

◇国の原子力災害対策指針や県地域防災計画原子力災害対策編で示されたおおむね30km圏内
⇒郡山地域の一部(郡山町、郡山岳町、西俣町、花尾町、有屋田町の各一部)
※災害発生時には、30km圏内外に関わらず、モニタリング測定結果に基づき、同様の防護措置を実施します

川内原子力発電所からの距離



原子力災害が発生したときは

- ①まず、正しい情報を集めましょう
テレビやラジオ、防災行政無線などから情報を入手しましょう。
 - ②屋外にいる人は、速やかに自宅や公共施設などの屋内に入りましょう
放射線の影響を少なくすることができます。
 - ③屋内に入ったら、手や顔を洗い、衣類を着替えましょう
着替えた衣類はビニールの袋に入れ、他の衣類と区別しましょう。
 - ④全ての窓・扉を閉めるとともに、換気扇を止めて外気の流入を防ぎましょう
 - ⑤避難指示が出されたら、自家用車で避難しましょう
自家用車がないときは、市が準備するバスなどで避難しましょう。
- ※昨年3月に全世帯に配布した「わが家の安心安全ガイドブック」をご覧ください



防犯と事故防止

地域の安心安全力を高めよう

子どもたちの遊び場になっているような危険な地下壕(防空壕など)があれば安心安全課216-1209へご連絡ください。

世界基準の安心安全都市を目指します～セーフコミュニティの推進～

本市では、第五次鹿児島市総合計画の都市像「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」の実現に向け、WHO(世界保健機関)が推進するセーフコミュニティに取り組み、平成27年度の認証取得を目指します。

◇セーフコミュニティとは、身近に起こっている事故やけがを予防する取り組みのことです。セーフコミュニティの取り組みでは、何か特別な活動を始めののではなく、これまでの地域活動や事業を生かしながら、「予防」に重点を置き、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果をもとに、地域住民、団体、行政が協働し、より安心安全なまちづくりに向け、効果的で継続的な活動(右図を参考)を行います

【安心安全課 216-1209】

防犯や交通安全の知識を高めよう

本市の犯罪認知件数は減少傾向にあるものの、自転車の盗難や車上ねらいなどの事案が増加しています。また、高齢者が犠牲となる交通死亡事故が増加しています。防犯や交通安全の知識を高めましょう。

■安心安全アカデミー
地域の自主的な防犯・事故防止、防災などの活動を推進するリーダーを育成する講座です。
※受講者の募集は「市民のひろば」でお知らせします

◇コース ①防犯・事故防止 ②防災
※両コースの同時受講も可能。「防災」コースの修了者は、日本防災士機構が実施する「防災士資格取得試験」の受験資格が得られます

防犯教室・交通安全教室や安心安全研修会、交通安全啓発DVDの無料貸し出しなども行っていますので、積極的にご活用ください。申し込みなど詳しくは安心安全課216-1209へ。

反射材を着用しよう

日が暮れると、歩行者を確認するためには黒っぽい服装で約30m、明るい服装で約50mまで近づかなければならないといわれていますが、反射材をつけていると、約120m離れていても気づくことができます。

反射材にはタスキやバンド、靴に張り付けるもの、自転車へ取り付けられるものなど、さまざまな種類があり、ホームセンターや各地区交通安全協会などで購入できます。

【安心安全課 216-1209】

防犯に関する情報メールを有効に活用

■県警あんしんメール
変質者や不審者の出没情報、犯罪発生情報などをメールで配信(登録無料)。

◇配信申し込み kp110@123123.tvに空メールを送信
【鹿児島県警生活安全企画課 206-0110】

■ABC消費者情報ネットかごしま
悪質商法の被害情報や消費生活に関するお知らせをメールで配信(登録無料)。

◇配信申し込み abcnet@mail.city.kagoshima.la.jpに空メールを送信
【消費生活センター 258-3611】

ご活用ください～安心安全協力事業所～

犯罪や事故、自然災害の未然防止、災害などの発生時の救援活動において人材や資機材などの提供に可能な範囲で協力していただける事業所を、「鹿児島市安心安全協力事業所」として募集・登録しています。市民の皆さんが直接、登録事業所に連絡し、協力を依頼することもできます。 ※事業所の登録方法や登録事業所一覧などは市ホームページか安心安全課216-1209でご確認ください

登録証
鹿児島市安心安全協力事業所
鹿児島市
KAGOSHIMA CITY

市民が主体的に取り組む「安心安全なまちづくり」を支援します

■防犯パトロールを行う団体への支援
一定の要件を満たす団体や青パト隊を支援します。

◇防犯パトロール隊へのパトロール用品(帽子、ジャンパー、ベストなど)の支給
◇青パト車導入への青パト用品(青色回転灯、車両用拡声器など)の支給
◇青パト活動への活動費の助成(青パト1台ごとに燃料費など活動費の一部を補助)

地域安心安全ネットワーク会議への支援や町内会などで維持・管理する防犯灯への補助、町内会などの境界路への特設防犯灯の設置なども行っています。申し込みなど詳しくは安心安全課216-1209へ。

安心安全な地域を目指して

○私たちの「ふちだ防犯パトロール隊」では、危険箇所のパトロールや高齢者宅の火災警報器の訪問点検など、防犯や事故防止、防災などに取り組んでいます。

○活動を通して、子どもたちをはじめ、地域の人と話をする機会が増えました。みんなが意見を出し合うことで、地域の安全につながるといいます。これからも地域全体で活動に取り組みたいです。

竹内 良博さん
(喜入町)

防災対策

日ごろから万が一に備えよう

桜島の大規模噴火に備えよう

桜島は鹿児島のシンボルであると同時に、世界有数の活火山です。昨年(2012年)は885回の爆発が発生するなど、依然として活発な活動が続いています。

桜島の大規模噴火の前兆として、図2のような現象があるといわれています。普段から大規模噴火の前兆現象や気象台が発表する噴火警報などの情報に注意しましょう。

また、爆発的噴火に伴う噴石や火砕流、降雨時に発生する土石流にも十分注意しましょう。

図2 桜島の大規模噴火の前兆現象

くさくさい 克灰に取り組みましょう

■降灰除去作業にご協力を【道路維持課 216-1410】
路上駐車や看板などの障害物があると、降灰除去作業に支障が出ます。作業に気が付いたら速やかに車を移動させるなど、ご協力ください。

■私道の降灰除去【道路維持課 216-1410】
◇対象 原則として路面清掃車の作業が可能な幅員4m以上の通り抜けができる道路
※事前に申請が必要

■町内会への降灰除去機購入費補助【地域振興課 216-1214】
歩道や生活道路の降灰除去に必要な手押し式降灰除去機を町内会などが購入するとき、購入費の2分の1(1台当たり上限5万円)を補助します。

■商店街への補助【産業支援課 216-1322】
◇降灰除去機購入 購入金額の2分の1(1台当たり上限5万円)
◇アーケードの降灰除去 所要経費の2分の1(1回当たり上限20万円。年3回まで)

家庭や地域で克灰を
◇各家庭の宅地内降灰は克灰袋に入れ、最寄りの宅地内降灰指定置場へ
◇克灰袋がないときは袋が破れないよう、レジ袋を2枚重ねて出すこともできます
◇家庭や地域で克灰袋が必要なときには、環境衛生課か各支所、各地域福祉館、各市民サービスステーションへ【サンサンコールかごしま 099-808-3333】

ご活用ください「わが家の安心安全ガイドブック」

◇昨年3月に防災に関する情報を災害の種類ごとに掲載したガイドブックを全世帯に配布しています。万が一に備えて地域の環境に応じた防災対策を日ごろから考えましょう

◇また、防災マップでは、災害危険区域や避難所などの情報を知ることができます。災害に備えて、身近にある安全な場所や避難するときに通る道路を実際に歩いて確認してみましょう

◇危機管理課216-1213や各支所の総務課・総務市民課の窓口でも配布しています

地震・津波から身を守るために

■もしも地震が起こったら
◇東日本大震災では地震だけでなく、直後に沿岸部を襲った津波で、想定を超える甚大な被害が出ました
◇地震や津波のことをよく知って、自分の安全を守りましょう
◇地震発生時の行動は図1のとおりです
◇津波は「津波注意報・警報」が出される前にやってくる場合があります。揺れを感じたら、海岸から「より遠い」場所ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう

図1 地震発生時の行動マニュアル

■地震発生
机・テーブルの下に隠れるなど、まず身を守りましょう。

■発生後10分～
みんなで協力して、消火や救出・救援活動を行いましょう。

■発生～10分
揺れがおさまったら、火の始末やガスの元栓を開けて、安全な場所に避難しましょう。またラジオなどで正しい情報を集めましょう。

■建物の耐震診断・耐震改修の補助制度
◇昭和56年5月31日以前に建てられた木造戸建住宅の耐震診断・耐震改修を行う所有者に対し費用の一部を補助します
◇補助額 耐震診断は費用の3分の2以内(限度額3万円)、耐震改修は費用の3分の1以内(限度額30万円)
◇耐震改修の参考として「誰でもできるわが家の耐震診断」をご活用ください

【建築指導課 216-1358】

桜島火山爆発総合防災訓練

毎年1月に、桜島の大噴火と地震・津波を想定した桜島火山爆発総合防災訓練を実施しています。市民の皆さんが参加できる訓練も実施していますので、ぜひ見学・参加してください。

【危機管理課 216-1213】

標高表示標識を設置しました

津波から身を守るためには、「より高い」ところへ避難しなければなりません。津波警報などが発令されたときなどに、避難を判断する目安となるよう、町内会などからの要望などをもとに、市道沿いの電柱541カ所に「標高表示標識」を設置しました。

【危機管理課 216-1213】

みんなでつくる 災害に強いまち

■地域ぐるみで災害に備える～自主防災組織
自主防災組織は、町内会組織などを利用して結成できます(今年4月1日現在528団体)。災害が発生したとき頼りになるのはご近所の皆さんです。万が一に備えて、日ごろから訓練などを実施して災害に備えましょう。

また、本市では自主防災組織に対して、資機材の購入補助や活動への助成を行っていますので、ご活用ください。

■要援護者を地域で守ろう～災害時要援護者支援制度の充実
本市では、災害時やその恐れがあるときに、重度の障害者や一人暮らしの高齢者などが地域住民の皆さんの支援を受けて、円滑に避難できるように、支援体制の整備に取り組んでいます。

支援を希望する人(要援護者)と避難支援者を登録していますが、登録された要援護者6899人のうち、まだ支援者が決まっていない要援護者は3904人(今年3月31日現在)います。

今年度から自主防災組織の活動で支援体制の充実に取り組むことを目的とした取り組みを行います。

地域の要援護者の避難を支援してくださる人や事業所を随時募集しています。避難支援者はボランティアで要援護者の避難誘導などの支援を行うもので責任を伴うものではありません。

【危機管理課 216-1213】

津波避難ビルの指定を進めています

津波発生時に避難先を迅速に確保するため、津波避難ビルの指定を進めています。標高の低い地域(20m未満)で、次の基準を満たす建物を「津波避難ビル」として指定しています。

①耐震性 新耐震基準(1981年施行)に適合
②構造安定性 3階建て以上でRCかSRC造
③対応可能時間 24時間

現在、公共施設7カ所、民間施設13カ所を指定しています。

上記の基準を満たす建物の管理者で指定にご協力いただける人は危機管理課216-1213へご連絡ください。

災害への万全の備えを

自分や家族でできることをチェックしよう

□ 身近にひそむ「災害」をイメージ

自宅や職場、学校などのまわりでどんな災害が起こるか考えてみましょう（防災マップを活用しましょう）

□ 避難場所や避難経路を確認

指定避難所だけでなく、近くにある安全な建物や場所、避難するときに通る道などを実際に歩いて確認しましょう



□ 気象情報や避難に関する情報の入手方法を知る

- 地上デジタル放送のデータ放送、ラジオなど
- インターネットやメールで知る方法など



□ 非常持出品を準備する

いざというときにすぐに避難できるように準備しておきましょう

□ 家族との連絡方法について確認する

- 災害は家族が一緒のときに起こるとは限りません
- 家族が離ればなれになったときの連絡方法を話し合っておきましょう
- 携帯電話が使えなくなったときに備えて、連絡先を書いたメモを携帯しましょう

- がけや川の近く、災害時に通れなくなりそうな道は避けましょう
- 水害時に逃げ遅れたときには、ビルの高いところや自宅の2階など近くで高い場所に避難しましょう（垂直避難）
- 土砂災害の危険が差し迫ったときには、建物の中より安全な場所に避難しましょう。がけ側や谷側の部屋は危険です



非常持出品の準備例



- ラジオ・懐中電灯
- 飲料水
- 予備の電池
- 衣類など
- 非常食
- 救急薬品・常備薬
- 貴重品

※年齢や性別、健康状態に応じて必要なものを準備しましょう

災害用伝言ダイヤル「171」

利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生ができます。

録音 171+「1」+「市外局番からの固定電話番号」

再生 171+「2」+「伝言を聞きたい固定電話番号」

災害の発生により、被災地への通信がつかりにくいときに利用できます

活用しよう～住宅に関する助成制度～

■雨水貯留・浸透施設への助成

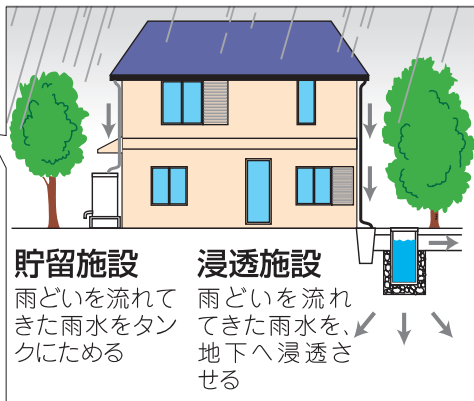
個人住宅に設置する人に対し、市が認めた経費の3分の2を助成します。 ※設置前に申請が必要

【河川港湾課 216-1412】

■がけ地近接等危険住宅移転事業

がけ崩れなどの恐れがある危険な場所に住む人が安全な場所に移転するとき、住宅の除却費用と新たな住宅の建設・購入に要する借入金の利子相当額に対して助成します。 ※事前に相談が必要。限度額あり

【建築指導課 216-1358】



貯留施設

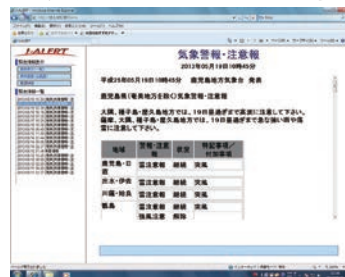
雨どいを流れてきた雨水をタンクにためる

浸透施設

雨どいを流れてきた雨水を、地下へ浸透させる

市民と財産を守るために
鹿児島市国民保護計画

本市では、武力攻撃事態などに対して、市国民保護計画に基づき、国や県などと連携しながら、避難や救援などの措置のほか、Jアラート(全国瞬時警報システム)などによる情報の収集を、迅速・的確に実施することとしています。



人命を救い、ライフラインを確保する

市立病院は、災害時に発生した重篤な救急患者の救命医療を行う基幹災害医療センターとして、重要な役割を果たします。

また、消防局では資機材の整備や救出・救護訓練を常時行っています。

水道局では、災害発生に備え、被害を最小限に抑えるため、上下水道施設・管路の耐震化などを推進しています。また、災害発生時は、応急給水や応急復旧活動を行います。



福祉避難所 ～安心して避難できます～

災害発生により、学校や公民館など一般の避難所での生活が長期化するとき、高齢者や障害者など援護を必要とする人が、安心して避難できる施設です。

これまで高齢者福祉センターなど7カ所を指定していましたが、今年3月25日、市老人福祉施設協議会と「災害時における福祉避難所設置に関する協力協定」を締結しました。これにより、新たに33カ所の民間の福祉施設(特別養護老人ホーム)を福祉避難所として使用することができるようになりました。

【地域福祉課 216-1244】



安心安全情報箱 ～あなたに安心安全情報をリアルタイムに配信します～

■かごしまiマップ(防災マップ)

避難所や地震のときの退避場所、土砂災害警戒区域などを確認できます。 ※携帯版とパソコン版で確認できる内容が異なります

◇アクセス方法 市ホームページトップ画面(<http://www.city.kagoshima.lg.jp>)→「かごしまiマップ」

■鹿児島市防災情報システム

避難勧告や避難所の開設、道路通行止めなどの最新状況をお知らせします。

◇アクセス方法 市ホームページトップ画面→「防災情報」

■鹿児島市雨量観測システム

本市の観測所(15カ所)の雨量データをお知らせします。<http://www.kagoshima-fd.jp/>

■安心ネットワーク119

災害情報、防災気象情報、避難情報などをメールで配信します(登録無料)。

◇配信申し込み ansin119@kagoshima-fd.jpに空メールを送信



■県土砂災害発生予測・河川情報システム

県内の雨量観測所のデータ、河川の水位をホームページで確認できます。

<http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/>

■市内3河川の水位を電話で確認

河川名	橋名	電話番号
甲突川	岩崎橋	229-2000
	塚田橋	238-2220
	宮山橋	298-2955
稲荷川	一ツ橋	248-3163
新川	田上橋	285-6100
	唐湊地区	250-2231

■鹿児島地方気象台ホームページ

降水予報や台風情報・火山情報などを入手できます。

<http://www.fukuoka-jma.go.jp/kagoshima/>

■大隅河川国道事務所ホームページ

桜島のライブ映像がご覧になれます。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

■桜島降灰速報

桜島の噴火後約5～10分で降灰の参考情報をメールでお知らせします。
https://373news.com/_mobile/media-kikaku/1117

■桜島噴火情報(NHK鹿児島放送局)

パソコンや携帯電話、地上デジタル放送(データ放送)で桜島の噴火情報をご覧になれます。
<http://www.nhk.or.jp/kagoshima/>



在住外国人の皆さんへ

～ To all foreign residents

市ホームページ(http://www.city.kagoshima.lg.jp/_1010/shimin/foreigner.html)で、安心安全に役立つ情報を入手できます。

【国際交流課 216-1131】

(英語) You can view useful information regarding safety and security on the City's homepage.

(中国語) 在鹿児島市的网页中，您可以浏览到有关安心安全的信息。

(韓国語) 시 홈페이지에서 안심・안전에 관련한 유용한 정보를 보실 수 있습니다.